



パリが見初

布で包装した地元の日本酒、パリコレのデザイナー綿なのにシルクのような光沢を放つ「パリーコットン」。伝統の糸染めに光沢を出す新しい技術を吹き込んだ。価格は通常の3倍だが、「産地再生のモデルにするが、仏高級ブランドのルイ・ヴィトンが藍色の生地を採用、注目度が一気に上がった。後に続くブラン社(46)が願いを込めた。でも現れ、国内でも一目置

・披露宴をせず写真撮影だけのフォトウエディングなど扱ってき

・挙式をせず、新婚旅行を兼ねて写真を撮りに神戸を訪れるカップルが多いことに

・着目。低価格の挙式の需要があると判断した。萩原社長は「神戸は挙式にびったりな街。地域活性化につながる」としている。

078・570・5619 (塩津あかね)

平日限定結婚式いかが

神戸の企画会社 低価格商品を発売

結婚式の企画会社(神戸市中央区)は、平日限定のウエディングプランを発売した。ANAクラウンプラザホテル神戸(同市中央区)、婚礼衣装レンタルの、いのうえ(同市長田区)と連携し、

料金を低価格に設定。資金が十分になかったり、入籍のみを考えていたりするカップルに神戸での挙式を呼びかける。

同社はリーガロイヤルホテルで婚礼を手掛けてきた萩原宏宗氏(43)が2012年に設立。従業員1人。挙式



ケントのフォトウエディング。平日の挙式プランを売り出した(同社提供)

パン消費日本一の神戸で、各店の看板商品を食べ比べる試食イベントが10月5日、神戸市中央区中山手通3の「北野工房のまち」で開かれる。県パン協同組合(神戸市中央区、81社加盟)の主権。イスズベーカー(神戸市中央区)やフリアンド(西宮市)など神戸、西宮、明石の10店が自慢の品を出す。無料。

(高見雄樹)

カ国から集めたパンを並べ、パンの歴史を解説するパネル展示もある。

同組合の西川隆雄理事長(70)ニシカワ食品(加古川市)社長は「県産の小

ミャンマー事情学ぶ

神戸セミナーに50人参加

ミャンマーのビジネス事情を紹介する「ひょうご国際ビジネスセミナー」が27日、神戸市中央区の神戸国際会議場であった。約50人が参加し、日系企業の進出が急増する同国の投資環境を学んだ。ひょうご産業活性化センター(神戸市中央区)と三井住友銀行の主権。現地の事情を詳しくハ

決算

田(1)を認定した。28日、JR神戸駅南のデユオドームである「マイスターフェスティバル」で認定式を開く。神戸マイスターは優れたものづくり技術を持つ人の認定制度。1993年度に始まり、106人が選ばれた。平野さんは鉄鋼製品の組み立てに28年間従事

県内

高岡典男(生産管

1日)ベ

市場開

同本部

長(同部

日)生野

部長兼

部長兼